

豊富な医師と多彩な先進機器で 頭から足までの動脈硬化性病変に対応



脳神経外科や循環器内科など、各科専門医が連携し、あらゆる急性期疾患に対応すべく、最新の治療を提供。また、脳卒中・循環器病対策基本法第2次計画に則り、救急医療体制のみならず、情報通信技術を活用した院内体制の整備や、患者をサポートするための相談窓口の整備などにも取り組み、「周辺住民の皆様の安心な生活を支えられるよう、日々努めてまいります」と話す野中理事長・院長



① 心血管集中治療室 (CCU) を2室完備。CT画像も撮影可能な最新機種を含め血管造影装置 (DSA) 3台、3T (ステラ) MRI、64列マルチスライスTなど各種検査機器がそろう

② 新棟3階に血液浄化センターを開設。水源地通りに面した地下鉄東西線南郷7丁目駅から徒歩5分の場所にあり、交通アクセスは抜群

「いのちと向き合う、ここるところと向き合う」をモットーに、脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・心臓血管外科・腎臓内科などを擁し、「頭から足の先までの動脈硬化性病変に対応する病院」として地域医療に貢献する札幌白石記念病院。

脳疾患部門は、脳血管内治療に熟練の技術を持つ野中雅理理事長・院長をはじめ、稲村茂副院長、恩田敏之脳血管内治療センター長、高橋賢脳卒中センター長、倉内麗徳医師、大坊雅彦医師という豊富な実績を持つ専門医6人体制で、脳梗塞急性期における血栓溶解療法などの再開通療法のほか、脳卒中に対する最新の治療を行う。最近では、脳動脈瘤に対するコイル塞栓術に加え、5mm以上の動脈瘤に対して保険適用となり、安全かつ確実な治療法として全国的にも主流になりつつある「フロアダイバーター留置術」を実施。さらに、カテーテルを手首や親指の付け根

から入れる、より低侵襲な血管内治療を多くの症例で行っている。循環器系疾患部門は、カテーテルアブレーションという難治性不整脈治療を専門とする宮本憲次郎副院長を中心に、森田亨心臓血管カテーテル治療センター長、臼井隆一医師、中川敬太医師の専門医4人体制で心臓および末梢の血管病変に対する総合的な治療を行う。

2020年に開設した血液浄化センターでは、山本論血液浄化センター長を中心に、透析治療が必要な脳血管に疾患を持つ患者や、脳血管障害を発症した透析患者の人工透析にも対応。リハビリテーション部門では、早期退院に向けた入院早期からのリハビリをはじめ、通所リハビリや訪問リハビリ、心大血管リハビリにも力を注ぎ、22年には回復期リハビリ病棟を開設。急性期から回復期、在宅に至るまで医療・介護の切れ目のない支援体制を構築している。

脳神経外科・脳神経内科・循環器内科・心臓血管外科・腎臓内科・リハビリテーション科・麻酔科(長塚か女子)

社会医療法人 医翔会

札幌白石記念病院

診療時間/
月～金 9:00～12:00(受付 8:40～11:30)
13:00～17:00(受付11:30～16:30)

(急患応需)
休診日/土曜・日曜・祝日

最寄りアクセス/
中央バス・JRバス本通8丁目停留所から徒歩1分、
地下鉄東西線南郷7丁目駅から徒歩5分



理事長・院長
野中 雅氏

1985年札幌医科大学卒業。
札幌医大脳神経外科入局。
2009年白石脳神経外科病院副院長、12年より院長、14年より理事長。日本脳神経外科学会・日本脳神経血管内治療学会各専門医ほか

☎011-863-5151

札幌市白石区本通8丁目南1-10

<https://www.ssn-hp.jp/>